

「授業づくり研究会」開催のご案内

研究会代表 安永 悟
(久留米大学文学部)

新学期を迎え、皆さま忙しい日々をお過ごしのことと思います。

さて、授業づくり研究会の準備が整いましたのでご案内いたします。多くの皆様の参加をお待ちしています。参加を希望される方は、安永研究室のホームページから申込をお願いします。もちろん、これまで同様、当日参加も受け付けます。案内が直接届いていない方も大歓迎です。皆さまとお目にかかれることを楽しみにしています。

研究会の後、懇親会を予定しています。こちらは準備の都合がありますので、参加を希望される方は期日までに連絡をお願いします。

なお、本研究会は初年次教育学会の「初年次教育実践交流会」としてお認めいただいています。初年次教育学会の皆さまも気軽に参加してください。

記

1. 日時：2016年5月7日（土） 13時～17時まで
2. 場所：久留米大学御井キャンパス 学生会館ミーティング＝ルーム3
3. 参加資格：協同教育(学習)に関心のある方
4. 参加申込：安永研究室のHP (<http://yasunaga.me/wiki.cgi>) からお願いします。
(注意) HPからの申込に対しては自動返信になっています。万一、返信が届かなかった場合は、下記「問い合わせ先」までご連絡ください。
5. 研究会の内容
 - (1) 挨拶・導入 (担当：安永 悟) 15分程度 (13:00-13:15)
 - (2) 協同学習の基本的な考え方と技法 90分程度 (13:15-14:45)
 - a. 担当 : 安永 悟 (久留米大学)
 - b. 内容 : 年度初めですので、協同学習の基本的な考え方と技法を学ぶ機会を設けました。協同学習の基本的な技法を体験的に理解していただくと同時に、その背後にある「協同の精神」について調査結果を手がかりに検討します。
加えて、LTD話し合い学習法を基盤とした授業モデルの開発と異校種接続について話題提供し、皆さんと一緒に議論します。

- (3) 交流タイム 35分程度 (14:45-15:20)
a. 内容 : 本研究会の隠れた魅力のひとつに、参加者同士の交流があります。今回は少し長めの休憩時間を用意し、交流タイムとしました。

- (4) 研究報告「精神看護学実習における実習指導者の学習支援の構造」 90分程度 (15:20-16:50)

- a. 担当 : 平上久美子 (名桜大学・久留米大学心理学研究科博士課程)
b. 時間 : 報告30分・討議60分の予定
b. 内容 : 本研究では、臨地実習における実習指導者に焦点をあて、修正版グラウンデッド・セオリーを用いて、学生に対する学習支援の構造を検討しました。その結果、実習指導者は単に学習支援を行っているだけでなく、学生との相互作用を通して、実習指導と精神科看護を学び直し、かつ患者と学生との相互作用を治療の機会にしようとしているという学習支援モデルを構築することができました。この学習支援モデルは、臨地実習に関わる学生、患者、指導者、教員といった関係者の質の高い相互作用が前提となっており、そこでは協同による学びが成立していたと理解することもできます。今後は協同学習の理論、特に社会的相互依存理論に依拠して本モデルを精緻化するとともに、その有効性を高める授業のあり方や指導者との協同の仕方などを検討していきたいと思います。なお本研究は、日本精神保健看護学会誌Vol.23, No.2, pp.1-11, 2014に掲載されています。

- (5) 事務連絡・閉会 10分程度 (16:50-17:00)

6. 懇親会のお知らせ

研究会終了後に懇親会を開催します。参加希望者は上記「4. 参加申込」と合わせて、5月2日(月)までに、安永研究室のHPから申し込んでください。

場所： 西鉄久留米駅界限

会費： 4,000円程度

(注意) 直前の取り消しには応じかねます。参加されなくても参加費を徴収することがありますので、予めご了承ください。

7. 問い合わせ先

ご不明な点があれば、次までお願いします。

安永悟 yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp

以上